

私の決意

感動県政

「国王による支配権は神によって授けられたもの」として王権神授説。

これが長くヨーロッパの「絶対王政」を支えた。それが当たり前のように信じられていた時代があった。

そこに王権の絶対性に敢然と異を唱え、流星のようにジョン・ロック(John Locke)が登場してくる。啓蒙思想家の彼が『市民政府二論』を著したのは17世紀末。立法権と行政権の分離を説き、これが18世紀半ばにはモンテスキューによる三権分立論(司法権・立法権・行政権)へ発展していく。

さらにフランス革命へ十分影響を与え、東洋の小国であったわが国の明治維新の原動力となっていく。

しかし、すべての原点であるこの本を彼が匿名で著したのをご存知だろうか。「死後著者である自分の名を明らかにして欲しいと」遺言にしたためてある。わかってくれる人無くとも必ず理解される日がやってくる…。たとえようの無い決然たる意思と情熱で彼はペンを走らせたのだった。

最初からあったような議会制。しかし彼のような命がけの決意がそのシステムをデザインしてきた。議会は、専制者の恣意的な権力行使を一つ一つ制限し、人々の人権を確立するための努力の集大成のしかけといえる。目的はたった一つ、人々の幸福を求めてである。

議会の権限は、行政府の権力集中に対する重要な牽制となっている。だから議会は行政と渡り合えるだけの意思と実力を保持していなければならない。よって議員は特権階級でも何も無い。社会を支配しがちの人々によって構成される必要は全くない。議会は原点を認識する意思と実力ある人物により形成されるべきであろう。議会は人々の幸せのためにつくられてきたという歴史認識を絶対に忘れないことを決意する。

私は誓う政治信条

感動県政

「人生は助け合い、政治は奉仕」これが私の政治信条の柱です。

さらにこれを支えるために次の4項目を己の肝に銘じています。

1. 議会は、行政側に常に緊張感を与え、独善性や独走を防ぐために存在しているということを一時も忘れず行動してゆく。

2. 街のなかにはたくさんのドラマが毎日毎日静かに繰り返されている。そのドラマの一つ一つに議会は一体どんな役割を果たせるのかを常に真剣に考えていく。

3. 国会でやがておこるであろう政権の交代の実現へ、地方のこの埼玉でも努力を傾けていく。つまり既成の守旧勢力を撃破するだけの十分なエネルギーをいつも醸成し続けていく。

4. 改革意識と情熱をもっているか。無責任な政治を排除する勇気が衰えていないか。我が心を常に検証していく。

私は誓う三大公約

感動県政

大胆な議会改革、積極的な行政改革。

命 イノチ

かつてはみんながわかっていた…。
「命こそ、はかなく、かけがえの無いもの」を心に刻む当たり前の社会。早く取り戻そう！

●児童虐待3万件超。「命は素晴らしい」がわからない社会を、一刻も早く立てなおさなければならない。

●3分以内に使用すれば心室細動の75%の命が救えると言われる、自動体外式除細動器(AED)の設置急ごう。

●捨て犬・捨て猫の殺処分年間65万頭、命という視点からただ殺すだけの施策からの脱却はかろう。

●網膜色素変性症(RP)など原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち特定の疾患について、援助と対策構築しよう。

誇 ホコリ

「そこに行くと何かが違う」
「みんなに自慢したくなってしまおう」
風格と自信のある埼玉県を！

●次世代路面電車(LRT=Light Rail Transit)導入し、理想的な交通対策を実現させよう。

●県公立高の空き校舎など利用し、埼玉県版寄宿舎ドンドン整備しよう。何かを達成しようとする気概もつ若者、自立心もち自己決定できる若者をそこで育てよう。

緑 ミドリ

「いま地球は重病だ」の認識。
忘れがちでないか！？
あらためてスクラム組んでつくりよう
「CO₂削減・循環型社会」を！

●建築物の温度低減、また鳥類・昆虫類等の飛来など生物相の回復に効果のある「屋上緑化」や「壁面緑化」の積極推進をはかろう。

●家庭でてんぷら等に使われた食用廃油の回収を始めよう。バイオディーゼル燃料(BED)として使用。二酸化炭素の削減や大気汚染抑制に貢献させよう。

●「井戸・湧水復活再生事業」スタートさせよう。地下水を涵養し、「揚水・取水施設整備」し、遊歩道、水路などを整え、憩いの空間をつくりよう。

●「雨水貯留浸透事業」始めよう。市街地や道路での水を地下に浸透させ、既存の河川・沼への負荷を下げさせ、昔からの湧水ポイントで涸れているものを再生しよう。

浅野目義英(あさのめ・よしひで)

〒330-0043さいたま市浦和区大東1-11-1-501
<http://asanome.com>

